



第14回日本トライアスロン選手権東京港大会／ 2008NTTトライアスロンジャパンカップ・ランキングイベント最終戦速報 女子井出が初優勝、男子田山が3連覇

シリーズチャンピオンは、女子がジュニアの佐藤優香、男子が山本

10月26日(日)、首都東京・お台場で第14回日本トライアスロン選手権東京港大会／2008NTTトライアスロンジャパンカップ・ランキングイベント最終戦が開催された。

日本選手権とNTTジャパンカップシリーズチャンピオンの2大タイトルがかけられている本大会は今シーズンの最終戦でもあることから、北京オリンピックに出場したトップ選手をはじめとする、男女計122名の日本を代表するトライアスリートが集結した。

午前8時25分スタートの女子は、NTTジャパンカップ第11戦銚子大会終了時点でNTTジャパンランキング1位のジュニア、佐藤優香(日本橋女学館高校)が先頭でスイムを終えた。その後ろを北京オリンピックで5位となった井出樹里(トーションパートナーズ・チームケンズ)やスイムを得意とする土橋茜子(チームケンズ)、古谷あかね(トヨタ車体)、中島千恵(トーションパートナーズ・チームケンズ)が追い、その5名でバイクの第1集団を形成。中盤に庭田清美(アシックス・ザバス)を中心とした第2集団に追い上げられるまで、レースを牽引した。



お台場の海岸からスタート(女子)

女子、バイク序盤のトップ集団



井出 樹里

トーションパートナーズ・チームケンズ



ラン2周目で庭田選手が少し離れたのを感じたので、そのまま引き離そうとしてスピードを上げた。北京オリンピック終了後から、満足いく状態になれなかったもので、どうしてもランでは自分の走りを見せたかった。決して満足のいくレースではなかったけれど、優勝することができて良かった。

田山 寛豪

流通経済大学職員・チームブレイブ



今日のレースで北京オリンピックでの嫌なイメージを払拭したいという思いがあった。ゼロにするためには、ロンドンで挽回するしかないと思うが、今日は優勝できて、そして周りに元気な姿を見ることができて良かった。優勝回数よりも、北京の悔しさを少しはらすことができてうれしい。

JTU Official Sponsors & Official Partners



バイク終盤には10名で再構成された第1集団だが、ランに入ると2周目に井出が徐々にペースを上げていく。庭田が何とか食らいつつこうとするものの、なかなか捉えられない。さらに井出は庭田がスピードを落とした隙に加速し、そのままフィニッシュへと逃げ切り、宣言通り、初となる日本選手権優勝を実現させた。2位には庭田、3位には足立が入った。

午前11時ちょうどにスタートした男子は、田山寛豪（流通経済大学職員・チームブレイブ）と平野司（NTT東日本・NTT西日本）がほぼ同時にスイムを終了。だが、数秒の差でスタートしたバイクを得意とする山本良介（トヨタ車体）と疋田浩気（静岡県協会）が少しずつ追い上げ、そのまま二人で第1集団をつくる。第2集団はバイク終盤、田山、平野や福井英郎（トヨタ車体）に、追いついたジュニアの椿浩平（チームブレイブ）など18名の選手で構成された。

第1集団と第2集団は1分近い差を付けてランへとスタートしたが、第2集団から田山、佐藤治伸（愛媛県協会）がトップを猛追。ラン2周回目の終盤には、田山が山本を捉えて先頭に立ち、さらにその後ろを佐藤が追う。

結局、田山がそのままトップを守り抜き、3年連続5度目となる日本選手権優勝の快挙を成し遂げた。続く2位には田山同様、ランで追い上げた佐藤が入り、山本は3位となった。

また、同時に発表されたNTTジャパンカップシリーズチャンピオンのタイトルは、バイクで落車というアクシデントに見舞われながらも5位と健闘した女子佐藤優香、男子は山本が勝ち取った。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧いただけます。



バイクでトップを走る山本(右)と疋田(左)



ランで競り合う田山(右)と山本(左)

佐藤 優香

日本橋女学館高校



シリーズチャンピオンになることができたのはうれしいが、それはポイント稼いだというだけで、日本選手権の結果としては5位。そのことには満足していない。まだ力が足りないので、また1年間、一所懸命練習して力を付けて、来年こそ3位以内に入れるように頑張りたい。

山本 良介

トヨタ車体



調整で出場していたレースの積み重ねでシリーズチャンピオンの座を勝ち取れた。狙っていたことではあるのでうれしいけれど、今日のレースに関してはバイクでもう少し逃げられたら、という思いがある。ランでは自分がどこまで走れるか分からなかったが、観客の後押しもあって3位になることができた。

JTU Official Sponsors & Official Partners

NTT東日本 NTT西日本

SAMSUNG

Kyorin JAL arena Amino-Value asics TAIHEI resorttrust EKTIS fieria SUBWAY 三ツ星
EBC Gakken 文化総合研究所 B&G KONAMI SHIMANO JBJA Canadian Crystals